

大島まちづくり協議会

みたけニュース

速報

大島まちづくり協議会事務局
笠岡市大島中8940-1
TEL 090-7991-4928
FAX 0865-67-6818

大島まちづくり協議会総会報告

○平成23年6月26日 ○大島公民館



会長あいさつ

中秋の候、皆様方には酷暑のお疲れはございませんか。「3.11」の大震災から台風の襲来が相次ぎ、「災害は忘れないうちに やってくる」という異常事態のこの頃、皆様方をはじめ周辺地域の被害はいかがでしょうか。初年度は、この協議会発足の基本理念である「皆様が安全で安心して暮らせる魅力あふれるまちづくり」の事業を円滑に推進するための基盤整備である事務機器等の導入をして、体制づくりに努めました。今年度は、皆様方から寄せられました要望・意見等を踏まえ、試行的ではありますが、当協議会の目的達成の初歩となる事業を計画し、一步一步進めております。もとより、浅学非才な私ではございますが、皆様方おひとりおひとりの英知を結集させていただき、基本理念である魅力あふれるまちづくりを実現していきたいと念じております。皆様方は「チーム 大島」のメンバーです。

ひとりみんなのために！ みんなはひとりのために！

持てる力をいかに発揮下さいまして、ご支援・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。なお、笠岡市は、大島地区担当者として次の職員の方々を任命し、協働のまちづくりを積極的に推進するとともに大島地区の皆様方が快適な生活を営めるようご尽力をいただいております。

高見 俊行 様 明地 倫伸 様 小林 健一郎 様 田辺 晶子 様

事業報告

平成22年度末に、地域住民が安全で安心して暮らせる魅力あふれるまちづくりを推進するため、笠岡市モデル地区として指定を受け、当面の体制準備をいたしました。各種団体等と連携をとりながら、大島地区内のコミュニティの輪を広め、地域住民の生きがいつくりの一助となることを目指し、その一步を踏み出しました。

実施概要

1. 結成総会開催により規約の制定（別添のとおり）・役員選出承認
2. 事務・通信機器等の整備により事務事業の円滑な推進体制確立
3. 広報誌「みたけニュース」を発行し全戸へ配布して周知徹底に努めた
4. 実施事業等検討するため情報収集に努めた。
5. 事務局設置は条件整備ができるまで会長の住所地とした。

平成22年度大島まちづくり協議会決算書（案）

【収入の部】 (単位：円)

項目	予算額(A)	決算額(B)	予算比較(A)-(B)	摘要
市補助金	500,000	500,000	0	モデル指定補助金
寄附金	5,000	1,000	4,000	
諸収入	5,000		5,000	
収入合計	510,000	501,000	9,000	

【支出の部】

項目	予算額(A)	決算額(B)	予算比較(A)-(B)	摘要
会議費	20,000	4,698	15,302	総会費等
広報費	50,000	70,300	△20,300	広報紙記念号発行費
使用料及び賃借料	30,000	0	30,000	
通信費	20,000	1,575	18,425	携帯電話開設料
委託費	30,000	0	30,000	
消耗品費	120,000	160,873	△40,873	ロッカー/スクリーン/各種事務用品/用紙封筒等
備品購入費	200,000	263,550	△63,550	プロジェクタ/パソコン一式他
雑費	30,000		30,000	
予備費	10,000		10,000	
支出合計	510,000	500,996	9,004	

※項目間の充・流用は、これを行うことができる。
収入合計501,000-支出合計500,996=時期繰越額4円

平成23年度大島まちづくり協議会予算書（案）

【収入の部】 (単位：円)

項目	予算額	前年度予算額	前年度比較	摘要
市補助金	500,000	500,000	0	
寄附金	15,000	5,000	10,000	
諸収入	5,000	5,000	0	
収入計	520,000	510,000	10,000	
前期繰越額	4	0	4	
収入合計	520,004	510,000	10,004	

【支出の部】

項目	予算額	前年度予算額	前年度比較	摘要
会議費	15,000	20,000	▲5,000	総会・理事会等
広報費	100,000	50,000	50,000	会報等発行インターネット経費
使用料及び賃借料	0	30,000	▲30,000	
通信費	80,000	20,000	60,000	FAX回線料 電話使用料
委託費	0	30,000	▲30,000	
消耗品費	70,000	120,000	▲50,000	
備品購入費	0	200,000	▲200,000	事業計画実施経費
事業費	200,000	0	200,000	事業関係を含む
旅費	40,000		40,000	支援センター登録他
負担金	3,000	0	3,000	
雑費	7,004	30,000	▲22,996	
予備費	5,000	10,000	▲5,000	
支出合計	520,004	510,000	10,004	

*項目間の充・流用はできる。

平成23年度事業計画

本年度は、笠岡市と協働で地域の皆さんが安全で安心のできる魅力あふれるまちづくりを推進するための準備年度と位置づけ、当協議会規約第4条の各号に定める事務事業の執行体制を整備していきたい。そして、同時に各種団体等からの要望・意見等を踏まえ、予算内執行できる範囲を目的に必要時期に試行的に実施したい。当協議会の目的達成に有効な事務事業についても執行体制が整い次第、可能な限り試行実施することとしたい。平成24年度からの本格的な稼働へ向けて、今年度は試行して、課題を模索し、次年度へ備える年度とする。

- <具体的事項> 規約第4条第1項各号の計画内容
- (1) 地域住民の安全安心システムの構築
 - ・公共交通対策
 - ・自主防災組織の充実強化策
 - ・まちづくりの拠点施設の確保と事務局体制の強化策
 - ・独居老人対策（見守り、ふれあいいきいきサロン等）
 - (2) 地域住民の生きがいづくり
 - ・特産品の開発（農産・水産・工芸）
 - ・花いっぱい運動の展開
 - ・環境美化等奉仕活動の展開
 - (3) 地域住民のコミュニティの場づくり
 - ・まちづくり派遣事業による講演会開催（参加）
 - ・生涯スポーツ（グラウンドゴルフ、ゲートボール）大会支援
 - ・大島お宝探し健康ウォーキング開催
 - (4) 地域の文化財（有形・無形）の保全と継承
 - ・郷土芸能（傘踊り）の保存と継承
 - ・「笠岡よっちゃん夜」への出演
 - ・古道、旧跡（旧大島八十八か所めぐり）の保全
 - ・郷土史料の保存と継承
 - (5) 郷土の景観の保全と有効活用
 - ・御嶽山、青佐山の登山道保全

平成23年度 役員名簿 *順不同

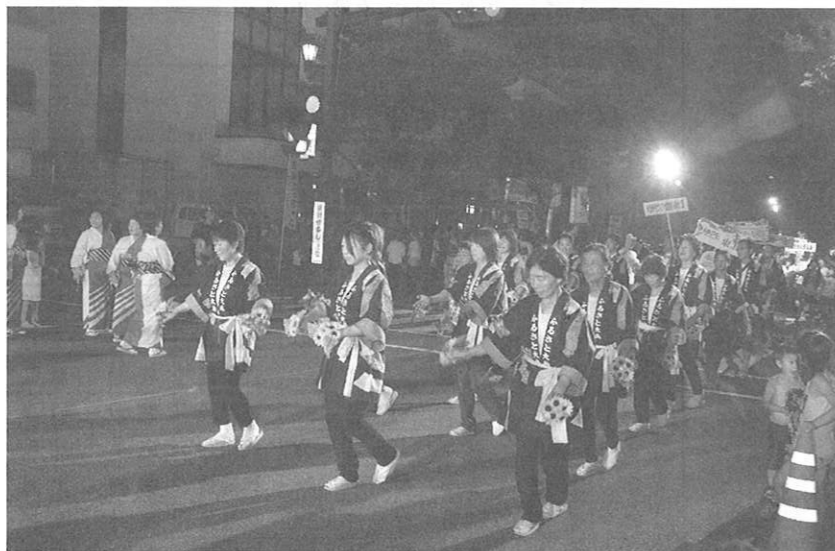
0	役職	氏名	役職	氏名
1	顧問	岡田 伸志	26 代議員	佐伯 桂子
2	相談役	原田 毅	27 代議員	田原 博子
3	相談役	仁科 文秀	28 代議員	大島 ツルヨ
4	相談役	田口 忠義	29 代議員	浅野 正明
5	会長	大島 博	30 代議員	黒住 かをる
6	副会長	大島 浩文	31 代議員	佐伯 嘉弘
7	副会長	浅野 節治	32 代議員	渡辺 行子
8	副会長	藤井 正信	33 代議員	吉本 知枝
9	理事	原田 登志一	34 代議員	藤井 治雄
10	理事	浅野 ツヤコ	35 代議員	藤井 和子
11	理事	黒住 孝士郎	36 代議員	尾崎 和枝
12	理事	安福 精一	37 代議員	大内 咲子
13	理事	広常 玲子	38 代議員	松枝 真人
14	理事	笠原 千加	39 代議員	大島 秀子
15	理事	光枝 道子	40 代議員	大島 裕子
16	理事	黒住 憲敬	41 代議員	藤原 建夫
17	理事	大島 忠成	42 代議員	浅野 和彦
18	理事	二階堂 徳栄	43 代議員	斉藤 肇
19	理事	斉藤 薫	44 代議員	大島 誠
20	理事	清水 芳之	45 代議員	枝木 和美
21	理事	原田 和彦	46 代議員	西井 真由美
22	理事	渡辺 美也	47 代議員	桜井 章雄
23	理事	藤井 明子	48 監事	二階堂 安邦
24	代議員	黒住 正子	49 監事	大島 辰彦
25	代議員	斉藤 智子		

「笠岡よっちゃんれの夜2011」

「大島まちづくり協議会ひまわり連」栄えある笠岡市長賞を受賞



大島まちづくり協議会
文化部部长 黒住 孝士郎
よっちゃんれの夜実行委員 桜井 章雄 仁科 澄子
浅野 和彦 (文責)



去る2011年7月23日(土)に行われた「笠岡よっちゃんれの夜2011」には踊り連女性27名、小学生男子3名、盛り上げ隊男性7名の総勢37名もの参加をいただき、大変暑い夜でしたが、気持ちも熱く、皆さんが「思い」をひとつにして、息の合った踊りを披露してくださり、また、「大島傘踊り保存会」のゲスト出演の相乗効果もあって、最高の賞をいただき、本当に楽しい思い出となりました。

大島まちづくり協議会としては、他地区に先駆けてまちづくり協議会として参加をしたこと、文化部の初事業として最高のスタートが切れたこと、またこの大島を始め笠岡を盛り上げることが出来たことが、何より素晴らしいことだと思います。

今後共、この文化部の活動を始め、大島まちづくり協議会全体へのご参加、ご協力をお願いいたします。この大島を色々な形で盛り上げていきましょう。

最後になりましたが、ご参加頂いた踊り連の方々を始め、盛り上げ隊の皆さん、そして小学生の3人さん、本当にありがとうございました、感謝申し上げます。

お知らせ

平成23年度ふれあいフェスティバル 「青佐山の歴史を訪ねよう」

参加募集

平成23年
10月23日(日)
8:30-12:00

コース 大島東小学校～山城～乗時～松尾～みはらし台～
井の砂塚古墳～大工ノ浜～大島東小学校(約4.0km)

日程 8:30 参加者集合→受付
参加者確認、ゼッケン・あめ・しおり等配付
8:35 開会
8:45 出発
11:45 ゴール ゼッケン回収、飲み物配付
閉会

◎史跡解説あり



※詳細は、主催者から各家へ届きます。

●主催 青少年健全育成協議会
●共催 大島まちづくり協議会

レポート

「まちづくりフォーラム2011」に参加して ～「幻燈会」人と縁をはぐくむまち育て～

日時:平成23年5月12日(木)
13:30~16:30
場所:笠岡市市民活動支援センター
2階 第一会議室



1. フォーラムの内容は「まちづくり」を進める為の示唆に富んだ次の4つの好事例を講師の延藤先生(自称幻燈師)が『幻燈機』2台を使ってわかり易く熱く語っていただきました。

も 景観も 文化も 混ざり合って、
休息・応接・仕事にも使える場所
(3) 価値観、経験、持ち味の違う人々
がお互いにうちとけて話し合える場所。

3. 高齢化が進行し、生活環境が激変している今日、周りの人と人とのつながり、思いやりを大切に、
「大島を人間関係豊かな
明るく楽しいまち」
にしていきたいと思いました。

監事 二階堂安邦 記

事例は次の通りです。

- (1) 子供の育ちとまちの育みとつなぐ。
- (2) 多世代交流の居場所づくり
- (3) 日常の縁結びで危機をのりきる。
- (4) 子供も自然もともに育ちあう
コミュニティづくり。

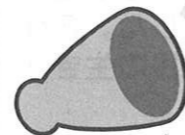
2. 先生の話から受けた最大の気づきは
・理想のまちとは「まちで育った若者が子供を連れて戻って来る人間関係豊かなまち」ということです。
・その理想のまちには次のような場所が必要です。

- (1) 子供と高齢者、生活者と専門家、市民と行政が出合える安らぎの場所。
- (2) 生活も 福祉も 教育も 建築

※講師 延藤 安弘さんプロフィール
1940年生まれ
北海道大学工学部建築工学科卒業・京都大学大学院修了
熊本大学・千葉大学教授を経て
現在 愛知産業大学大学院造形研究科教授
NPO法人 まちの縁創育み隊 代表理事
絵本好きで絵本の発想を実現する住まい・まち育て実践の大切さを全国行脚しながら説き続けておられます。

ご提案・ご意見をお願いします

～各種事業の具体的内容～



各ジャンルで考えていきたいと思えます

- 総務
- 福祉
- 健康
- 産業
- 観光
- 環境
- 教育
- 文化
- 防災
- その他

その1 ひと
みなさんと連携して…

その2 もの
これまで築いてきた
産物環境 等等

その3 かね
創意工夫の予算を…

□連絡先FAX 大島まちづくり協議会 0865-67-6818